

応答賛美歌を黙想する

「礼拝において、宣教・説教が終わると次は応答賛美です。神からのメッセージに対して賛美をもって神へ応答するのです。」讃美歌はイエス・キリストの生涯、十字架への応答です。では讃美歌はイエスの生涯をどのように証ししているのでしょうか。

昨年から歌っている176番（「主は豊かであったのに」）は歌詞をしっかりと受け止めて歌いたいものです。つい口から出てきます・・・「主は豊かであったのに、貧しくなられた」と・・・。「…貧しくなられた」とはどういうことなのでしょう。歌詞の意味が問いかけてきます。

「あなたは人の罪のために、苦しみ負われた」と続きます。罪とは何でしょうか？ “苦しみ負われた”とはどういう状況をいうのでしょうか？ 勿論、“十字架”のことを示しています。讃美歌はイエスの生き方、生涯を伝えます。「あなたは嘆く人たちと、共に生きられた」と。

讃美歌の歌詞を味わってしっかり歌いましょう！「わたしたちが主によって、豊かになるために」。新しい年を賛美から始め、賛美で終わりますように！

（山下誠也）